

令和6年度 志学小 学校評価 結果

☆学校教育目標：山里に学び、豊かな心で、主体的にたくましく生きる子どもの育成

☆めざす子どもの姿：○しっかり 学び合い 働く子 ○がんばって と助け合う子 ○くふうして やりぬく子

☆児童スローガン：いつも元気で みんなに優しく協力し合って あきらめない志学の子

〈育てたい力〉

- ①聞く力（人の話を聞いて理解する力）
- ②話す力（相手に分かりやすく、声、文字、絵などで表現する力）
- ③行動する力（自分から進んで動く力）

- ④あいさつ、返事をする力
- ⑤ほかほかことばの力（友達に声をかけ、相手の気持ちに寄り添う力）

- ⑥工夫してよりよくする力（友達の優れているところをまねして、自分の取組をよりよくしようとする力）
- ⑦計画する力（目標に向かって計画を立て、見直し、修正して進める力）
- ⑧やりぬく力（決めたことは最後まで全力でやり通す力）

教育目標	子どもの姿	経営の重点	番号	達成のための具体的方策	評価指標	評価	教職員向け 評価項目	肯定率	子ども向け 設問	肯定率	保護者向け設問	肯定率	次年度に向けての改善策
山里に学び、豊かな心で、主体的にたくましく生きる子どもの育成	しっかり学び合い働く子	ふるさと教育・キャリア教育の推進	1	育てたい力（MUGEN8）を意識させ、ふるさとの人、もの、ことを活かした教育活動を実施する。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童・保護者向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	三瓶（志学）、大田のことを学ぶ学習を、目の前の子が自立した姿（中学校で学ぶ姿）を見通して、計画的に行った。	83%	志学（さんべ）、大田のことを学んで、ふるさとのことをたくさん知ることができましたか。	94%	学校は、（校区外も含めて）地域に出かけたり、地域の方を招いたりする学習を積極的に行い、ふるさと志学を大切に思う心を持つ子を育てようとしていますか。	92%	1.育てたい力を意識した目標、計画を立て、その目標に対しての振り返り方を工夫する。
			2	生活をよりよくするための話し合いを行う。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	B	話し合い活動（学級会等）を月1回以上行い、自己決定、集団決定の仕方、折り合いをつけて合意形成を図る過程を指導した。	50%	学級会では、進んで自分の考えを発表しましたか。	100%			2.年度当初に全員で共通理解するとともに、経営の重点との整合性のとれた評価項目にする。
			3	学びのユニバーサルデザインの視点から、子どもが主体的、対話的に学べるようにするとともに、深い学びとなるような支援を校内研究で探る。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	校内研究のテーマに沿って、学びのユニバーサルデザインを取り入れた授業改善に努めた。	100%	勉強はよくわかりますか。	100%			3.来年度の研究内容により「達成のための具体的方策」を変更する必要がある。
			4	学校司書（学びのサポーター）と連携して授業を行う。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	学校司書（学びのサポーター）と連携した授業を学期に1回以上行った。	100%	図書館の本をつかって進んで調べることができましたか。	94%			
がんばってと助け合う子	と助け合う子	進路保障の取組を大切にしたい人権・同和教育の推進	5	背景を捉えようとする児童理解に基づいて、職員間で情報を共有して支援するとともに、職員研修を計画的に実施する。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童・保護者向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	「なぜ」と背景を捉えようとする児童理解をもとに、一人一人を大切に支援を行った。	100%	先生方は皆さんの話をしっかりと聞いてくださいましたか。	100%	学校は、お子さん一人一人を大切に支えていますか。	85%	5.現在の取組みを継続する。
			6	全校や他学級と関わる活動を通して仲間づくりを推進する。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	他学年と関わる学習や活動を学期に1回以上実施した。	100%	ほかの学年の人と協力して学習したり、活動できたりしましたか。	100%			6.仲間づくりを通してお互いに見つけたよさを共有し、広げていく場を増やす。
			7	道徳教育全体計画に基づいて授業実践を行うとともに、定期的に取組の評価を行う。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	道徳の時間を確保し、年間指導計画にもとづいて、日常生活や特別活動に繋げることを意識して授業を行った。	100%	道徳の時間には、自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりして、しっかり考えることができましたか。	100%			7.継続して道徳の時間の確保と、日常生活や特別活動につなげることを意識していく。
くふうしてやりぬく子	やりぬく子	基本的な生活習慣、学習習慣の定着を図るための家庭との協力体制づくり	8	生活習慣について振り返ることができるよう、「すこやかウィーク」の取組を行う。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童・保護者向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	B	「すこやかウィーク」等の取組を通して、子どもたちが生活習慣について意識できるよう、声かけや支援を行った。	100%	「すこやかウィーク」等で考えた自分のめあてに向かって、取り組むことができましたか。	94%	「すこやかウィーク」等の取組は、お子さんが生活リズムについて意識する機会となりましたか。	77%	8.内容の検討を行い、取組みが良好なものはなくしたり、がんばることをしぼったりし、負担感を減らす。また、家読とのバランスも考慮しながら根気強く続ける。
			9	自分にあった食について考えることができるよう、給食指導を食育につなげる。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	給食の際、食を意識した声かけや指導を行った。	100%	自分の食べることができる量等を考えて、給食を食べることができましたか。	100%			
			10	あいさつについて全校や各学級で取組を計画して実施する。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童・保護者向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	あいさつや返事を意識して指導を行った。	100%	あいさつや返事をしていますか。	94%	お子さんは家庭や地域であいさつや返事をしていますか。	92%	10.委員会、学校としての取組みを今後も工夫し続ける。（あいさつのポイント等）
			11	主体的に家庭学習に取り組めるよう、量や内容を工夫する。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童・保護者向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	子どもたちがやる気をもって、家庭学習に取り組めるよう支援の方法や内容を工夫した。	100%	学年×10分以上の家庭学習に集中して取り組みましたか。	100%	お子さんは学年×10分以上の家庭学習に集中して取り組みましたか。	92%	11.個人の状況を見据えた家庭学習のあり方を検討する。
信頼される学校	保小中の密接な連携	積極的な情報発信	12	業間活動の取組（5分間走、外遊び、チャレンジレースに向けての練習）、課外体育等の取組を計画的に実施する。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上、児童・保護者向けの設問肯定的回答8割以上をめざす。	A	「やりぬく力」の育成を意識して、業間活動や課外活動等の取組を支援した。	100%	業間マラソンなど目標を決めて、あきらめずやりぬきましたか。	100%	業間マラソンや外遊びなどの取組は、お子さんの体力づくりに効果的でしたか。	100%	
			13	各種たより（学校だより、保健だより、学級だより等）を定期的に発行し、ホームページを随時更新して、情報を発信する。	保護者、児童、教職員の評価項目の肯定的回答が8割以上をめざす。	A	学級通信、保健だより、学校だよりなど各種たよりやホームページで情報を発信した。	100%	学校からのたよりは、お家の人にわたして、読んでもらっていますか。	100%	学級だよりや保健だより、学校だより、ホームページ等が学校の情報を得ることに役立ちましたか。	100%	13.学校便りの写真が不明瞭になってしまうため、今後もQRコードでのホームページへのアクセスを促す。
働き方改革	働き方改革	保小中の密接な連携	14	保小中で共通のめざす子どもの姿を描いて、保小中がともに活動する。	教職員、保護者の評価項目の肯定的回答8割以上をめざす。	A	授業公開ウィークでは、子ども観察を中心に授業を参観し、保小中の学びを知り、連携を進めるために役立った。	83%			学校は、保育園や中学校と協力したり連携したりして、教育活動を行っていますか。	92%	14.小学校、中学校の風土を認め合う関係づくりをより密に行う。
			15	適時、年休を取得したり、家庭やプライベートの時間を大切にしたりしながら、ライフワークバランスのとれた働き方を行う。	教職員向け評価項目の肯定的回答8割以上をめざす。	A	ライフワークバランスを意識した働き方ができましたか。	100%					15.現状を維持しながら、お互いの職務を支え合う業務体制をつくる。
学校関係者評価 (学校運営協議会・志学の教育を考える会)				・ICTの活用が学習意欲の向上につながっていると感じる。今後はAIと子どもたちがどのように付き合っていくのか、教育活動の中でどのように活用されるのかが気になっている。 ・「すこやかウィーク」の取組について、目標を見直したり、項目を見直したりするなど検討をしていただきたい。									